JR東海が実施することとなる自然環境保全措置

参考資料1

○ 県専門部会におけるJR東海との全ての対話（3分野28項目）が完了

○ JR東海は、この対話結果に基づき、自然環境保全措置を実施

水資源【6項目】　令和7年6月　対話完了

・工事に伴うトンネル湧水の『全量戻し』への対応
（田代ダム取水抑制案、ポンプアップ及び導水路トンネルによる大井川への全量戻し）

・突発湧水等の想定外の事態に対応するリスク管理、モニタリングの実施

▲田代ダム

生物多様性【17項目】　令和8年3月　対話完了

・南アルプスの自然環境への影響の回避・低減措置を講じるとともに、「重要種の保全措置」や「生態系の保全・創出」、「南アルプスの調査研究や持続的な利活用」など、工事の影響部分のみならず、南アルプスの自然環境全体を豊かにするための『ネイチャーポジティブ貢献措置』を実施

・モニタリングに基づく評価とフィードバックを繰り返し適宜追加の対策を実施
（順応的管理のシナリオにより実施）

▲上流域の沢（悪沢）

トンネル発生土【5項目】　令和8年3月　対話完了

・全ての発生土置き場についてのモニタリング、リスク管理等の実施

・自然由来の重金属等を含む要対策土について適切な処理を実施
（オンサイト処理によるできる限りの無害化・減量化、二重遮水シート及びベントナイトシートを活用した藤島発生土置き場における徹底した封じ込め措置）

▲藤島発生土置き場